

50 回生シラバス

科目名： 看護実践能力の統合	担当者： ①教務長 ②専任教員 ③専任教員 ④専任教員 ⑤専任教員 ⑥専任教員 ⑦専任教員 ⑧専任教員 ⑨実習指導教員 SP8 名 (全員 臨床実務経験有)	総時間数 (回数)： 15 (8)	時期： 2 年後期	
科目目標： ・ 臨地実習に臨むにあたり、看護学生として自己の実践能力の課題を明確にし必要な学習に主体的に取り組む ・ 対象との関わりを通して、状況に応じた援助を考え、安全・安楽、倫理的に実施する。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1	ガイダンス 課題提示 試験に関する注意事項	・ 状況設定のある看護技術課題について、グループで協力して主体的に取り組むことができる 1. ガイダンス (課題学習の進め方) 2. 課題提示 事例① 事例② 事例③ 事例④	講義 ①	配付資料 ①課題 (事例) ②評価基準 (ループリック) ③学生ガイダンス資料 ④実施後リフレクションシート
2 3 4	課題別行動計画の立案 技術演習	・ グループで協力して行動計画を立案し、これに基づいて技術演習を行うことができる。	演習	
5 6 7 8	客観的臨床能力試験 (OSCE)	事前に提示されている事例の中から、当日指示する事例に対して、看護技術を実施する。 ※具体的な実施計画は別に提示する。 実施後、リフレクションシートにより自己の課題を明確にする。	客観的臨床能力試験 ①②③④⑤ ⑥⑦⑧⑨ 及び SP8 名 リフレクションシートの提出	
配付資料 ① 課題 (事例) ② 評価基準 (ループリック) ③ 学生ガイダンス資料 ④ 実施後リフレクションシート			評価方法 客観的臨床能力試験 90 点 リフレクションシート 10 点	
			評価基準 60 点以上で合格とする。	

担当者①②③④⑤⑥⑦⑧⑨実務経験あり